

福井

「福井全研ニュース第 10 号」

「ぽ〜れぽ〜れ 8 月号」福井県版特別号

発行日 平成 30 年 8 月 25 日
 編集・発行 公益社団法人 認知症の人と家族の会 福井県支部
 事務局 〒910-0017
 福井市文京 2-9-1 嶺北認知症疾患医療センター内
 TEL: 0776-28-2929 FAX: 0776-63-6756
 E-mail: monowasure@fmatsubara.com

ヒストリー福井 第 8 章「西洋医学の先駆者、解体新書」

前回に引き続き「江戸時代」の話です。西洋医学の先駆者と伝えられ、「解体新書」を発売した「杉田玄白」を紹介します。

小浜藩医杉田玄甫の子として生まれ、医家としては、玄白で 3 代目にあたります。

江戸の小浜藩邸で生まれ育ち、7 歳頃には一家で小浜へ移り、父の玄甫が江戸詰めを命じられる 13 歳頃まで過ごしました。青年期には家業の医学修行をはじめ、蘭方外科を幕府の奥医師西玄哲に、漢学を宮瀬龍門に学びました。

1765（明和 2）年、藩の奥医師となり、1769（明和 6）年には父の玄甫が死去。家督と侍医の職を継ぐこととなった。

1771（明和 8）年、千住骨ヶ原で腑分（解剖）を見、オランダの解剖図の正確さに驚嘆、これをきっかけに、中津藩医前野良沢・小浜藩医中川淳庵らとドイツのクルムスの著書を蘭訳した『ターヘル・アナトミア』を翻訳し、1774 年（安永 3 年）に『解体新書』として出版。日本の医学の進歩に著しく貢献しました。晩年には回想録として『蘭学事始』を執筆し、後に福沢諭吉がこれを読み、感動し、公刊された。



杉田 玄白（すぎた げんぱく）



←「杉田玄白記念公立小浜病院」

小浜市には、玄白（げんぱく）が小浜藩出身だったことにちなんで名前がつけられた「杉田玄白（すぎたげんぱく）記念 公立小浜病院」があります。病院正面には玄白の銅像があり、生前の玄白を忠実に再現して建てられました。

ほかにも小浜市には、小浜で亡くなった玄白の兄と義母の墓がある空印寺（くういんじ）や、玄白の父が納めたと伝わる弁天像がある羽賀（はが）寺など、ゆかりの地があります。

「いざ！！全研へ！！」

「事例発表、決まる」

全国研究集会開催までついに 2 ヶ月となりました。

今年の夏は記録的な猛暑で、心身ともに堪える夏となりました。

さて、全研のプログラムが決まりはじまりました。

事例発表の応募に申し込み頂きありがとうございました。

厳選なる選考の結果、事例発表者が決定しました。

- 認知症でも普通の人～認知症カフェの取り組み～（有）ふれんどりい
- 男性介護者のつどい「中北のつどい」～つながること～ 滋賀県支部代表
- 地域と共に歩む、明日への架け橋 県民せいきょう岡保きらめきグループホーム
- こころのキャッチボール「まちかどライブラリー」認知症の人と家族と地域の支え合いの会「希望の灯り」の 4 事例です。

当日まで、発表の準備等大変ですが、宜しくお願い致します。

また応募頂きましたが、当日発表できない方については抄録にて誌上報告とさせていただきます。

現在抄録の作成、編集を行っております。ぜひご期待下さい。



福井の味 第 6 弾 「若狭がれい」

第 6 弾は福井県の高級食材「若狭がれい」です。

暖流と寒流が入り込む若狭湾。そこで捕れるカレイの味は格別です。底引き網漁解禁とともに市場に出回り、産卵が終わる 2 月半ばまで続けられます。

カレイには 35 種におよぶ仲間がありますが、若狭湾で捕れるカレイも多種多様。そのうちアマガレイが『若狭がれい』と呼ばれています。

淡泊で水分の多いカレイなので、塩をして天日に干すことで身が締まっておいしさが増します。

生乾きで柔らかいのが美味。軽くあぶって食べます。地元では一夜干しがレイとも呼び、食べ易さと身の甘さが格別です。

若狭がれいは、京都でも珍重される高級品です。いまや福井県の皇室献上品となっています。



介護独楽吟 ご協力ありがとうございました

「介護独楽吟」を全研の抄録に掲載します。

幕末の福井の歌人・国学者の橘曙覧は清貧に甘んじ家族との生活の中に喜びや楽しみを見出し、「たのしみは」で始まり「する時」で終わる歌 52 首を詠み歌集「独楽吟」として残しました。

認知症の人と家族に対する理解と支援を多くの皆さんに求めるため私どもの「介護独楽吟」を全研会場だけでなく福井市内の公共機関等に掲示させてもらいたいと考えています。

47 都道府県支部から「介護独楽吟」を頂きました。お忙しい中、誠にありがとうございます。

皆様のとても心温まる詩は全研の抄録に掲載させていただきます。

当日は、皆様の心温まる詩で全国研究集会を盛り上げていきたいと思ひます。
ご協力ありがとうございました。

介護独楽吟

福井県支部

たのしみは車椅子にて曾孫抱き

歯のない笑顔見交わす時みるとき

言葉の無い母の気持ちになつて

母を在宅介護中 七十代女性

たのしみは湯あがり一杯飲むビール

お義母さん今夜はゆっくり

朝まで寝かせてね

在宅介護中 六十代女性

たのしみは友と向き合い囲碁試合

さしつさされつ勝ちそうなとき

要介護本人 六十代男性

たのしみはスマホに届く孫の笑顔

夫婦げんかもしばしお休みの時

要介護本人 六十代男性

たのしみは「あるある」と手を打ち

相槌して集うとき

介護専門職 五十代男性

運営委員の声

全研開催まであと 2 ヶ月。今となつては、昨年の 12 月に開催した全研キックオフ会議が遠い昔のようです。現在、開催に向けて大詰めの段階です。タイムスケジュールも決まり、チラシ・ポスターも一新し再度配布を行います。また「オール福井」を目指し、県内の企業、介護施設等から多数の広告協賛金、個人協賛金を頂きました。当会の活動内容を理解し応援して頂けているので、とても励みになります。少しでも認知症の理解が進み、本人と家族が住みやすい地域、社会になれるように努力したいと思ひました。